



2014年度ロレックス賞 ヤング・ローリエイツの受賞者を発表

2014年度ロレックス賞ヤング・ローリエイツ受賞者として、アフリカ、インド、ヨーロッパ、中東出身の先見の明あふれる5名の若者が、科学協会の最高峰であるロンドンの王立協会で発表されました。

今年度の30歳以下のヤング・ローリエイツ受賞者は高度な科学的知識のみならず、リーダーシップ資質、社会や環境を改善するために独創的な方法でテクノロジーを利用する技量も備えています。

5人の受賞者は、世界中の1,800人もの応募者から残った最終候補者の中より、8人の著名な専門家で構成される国際的な選考委員会によって選ばれました。受賞者には、プロジェクト推進の資金としてそれぞれ5万スイスフランが贈られます。

受賞者は以下の通りです。

ニーティ・カイラス、29歳(インド): 安価で取扱いが簡単な機器による新生児聴覚スクリーニングを増加させ、聴覚障害の診断と治療ができる医療従事者の総合的なネットワークの構築を目指しています。

オリヴィエ・ンセンギマナ、30歳(ルワンダ): ルワンダの絶滅危惧種、ホオジロカンムリヅルの繁殖とペット飼育からの解放を促進。ルワンダで富と長寿を象徴するこの鳥は、その美しさゆえに多くがペットとして飼われています。

フランチェスコ・サウロ、29歳(イタリア): ベネズエラとブラジルの国境にまたがる、南米の伝説的なテーブルマウンテンの巨大珪岩洞窟を探検し、何千年もの間、隔絶した環境で進化してきた他に類を見ない世界の発見を目指します。

アルチュール・ザン、26歳(カメルーン): アフリカ初の医療用タブレット端末を発明。携帯電話回線を介して農村部の医療従事者が心臓検査の結果を心臓専門医に送信することを可能にします。

ホサム・ゾフウィ、29歳(サウジアラビア): 現在、世界的に人類の脅威とみなされている、抗生物質に耐性をもつ細菌を即時に検知する検査方法を開発。地域住民に抗生物質の誤用がはらむ危険性を警告するキャンペーンも計画中です。

「史上最多の応募があった今年度の受賞者を発表し、素晴らしいプロジェクトに取り組む人たちを支援できることを誇りに思います。」とロレックスのフィランソロフィー部門の責任者であるレベッカ・アーヴィンは話します。「5人のヤング・ローリエイツと彼らのプロジェクトは、挑戦心とリーダーシップを強く示しています。今回の選考委員は、受賞者それぞれが現実世界の問題解決策として実現可能なアプローチを試みていることに、特に感銘を受けました。ロレックスが世界に知ってほしいと思うのは、彼らのような若者です。」

ロレックス賞

ロレックス賞は、世界初の防水腕時計でありこの賞が支援する革新性の象徴である、オイスターの誕生50周年を記念して1976年に創設されました。このプログラムは科学と医療、応用技術、環境、探検と発見、文化遺産の5分野において自身の才能と独創力によって世界を改革しようとしている、進取の気象に富んだ人々を表彰するものです。

2010年、ロレックス賞にヤング・ローリエイツ部門が設けられ、自らのキャリアにおける重大な岐路に立つ優秀な若者を称えました。賞金に加えて、ヤング・ローリエイツには、国際的なメディアキャンペーンを通じたそれぞれのプロジェクトに対する社会的認知、過去の実賞者や選考委員のコミュニティとの交流の機会が提供され、またロレックスの時計が贈られます。

ロレックス賞と、7つの芸術分野で新進気鋭のアーティストと第一人者を結びつけ、1年間にわたり相互交流を行う機会を提供する、ロレックス メンター&プロトジェ アート・イニシアチヴの2つは、ロレックス SAの主要なフィランソフィー プログラムであり、ジュネーブにあるロレックス本社によって運営されています。

ロレックス賞の詳細については、rolexawards.comをご覧ください。